

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2025年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習について

- (1)練習は係員の指示に従って、安全に留意して行うこと。特に投てき練習は危険防止に努めること。
- (2)練習場では安全のため逆走を禁止する。また、牽引ロープ等の用具の使用を一切禁止する。
- (3)走路の使用は原則として以下の通りとする。(状況により変更があるときは係員の指示に従うこと。)

◎メイン競技場練習時間 19日 8:30~10:00 20日・21日 7:30~9:00

◎メイン競技場 ◆1~2レーン:中長距離・競歩 ◆3~7レーン:短距離

◆8~9レーン:ハードル(400mH は第1~2曲走路)

◎補助競技場 ◆1~2レーン:中長距離・競歩 ◆9~10レーン(ホームストレートのみ):直線ハードル

◆3~4レーン:短距離(スタートダッシュはホームストレートスタート地点 この場合5~8レーンも使用可)

◆第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路にかけての7~8レーン:400mH

※9月21日は7~10レーンをハードル専用とする⇒⑦中2男110mH・⑧中1男100mH・⑨中女100mH・⑩80mH

◎雨天練習場 ◆1~2レーン:ハードル ◆3~4レーン:短距離 ◆5~6レーン:走幅跳・三段跳

3 招集について

- (1)招集所は、本競技場のメインスタンド下の室内練習場に設ける。(100mスタート地点側)
- (2)招集所へは、競技場外暴風ゲート(100mスタート後方)の入り口から入る。
- (3)投てき種目は、投てき場で招集を行う。
- (4)招集完了時刻については、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前とする。ただし、棒高跳については競技開始90分前とする。
- (5)招集の方法については次の通りである。
 - ①競技者は、招集完了時刻5分前までに招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク・商標等の点検を受ける。(トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取り出発までに右腰部やや後方に付ける。)
 - ②ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器の競技区域内への持ち込みは禁止する。(競技規則6.3.2)
 - ③代理人による点呼は認めない。2種目を同時に兼ねる競技者は「2種目同時出場届」を招集所にて受け取り競技者係に提出すること。
 - ④招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして処理する。
 - ⑤棄権する競技者は招集完了時刻までに「欠場届」を招集所にて受け取り競技者係に提出する。
 - ⑥アスリートビブスは所定の大きさのままで胸・背部両面に付けること。跳躍競技は背部または胸部のみでもよい。

4 競技について

(1)トラック競技について

- ①一度の不正スタートで責任を有する競技者は失格とする。
- ②トラック競技は全て写真判定装置を使う。
- ③予選出場者が9人以下となったときは決勝時刻に決勝を行う。(予選の招集完了時刻に確定)
- ④レーンの競走においてはフィニッシュライン通過後も自己のレーン(曲線)に従って走ること。
- ⑤5000m競走、5000m競歩については、気象状況によっては給水を実施する。
- ⑥リレーに使用するマーカーは1人1か所とする。マーカーは前走者が取り除くものとする。
- ⑦リレーのオーダー用紙は競技者係より受け取り、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに1部を競技者係に提出すること。決勝においてもオーダー用紙を提出すること。

(2)フィールド競技について

- ①競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従って行う。
- ②投てき競技の計測は光波測定器を使用する。また、招集完了時刻以降は他種目の練習はできない。

- ③跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
- ④三段跳の踏切板は、男子は砂場から10m、女子は8mの地点に設置する。

5 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1)トラック競技におけるレーン順およびフィールド競技の試技順はプログラム記載順序による。ただし、決勝の組み合わせ、レーン順は主催者が公平に決める。
- (2)トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たとき(以下同タイム者という)は下記の方法で決定する。
- ①800mまでの種目とリレーの同タイム者(チーム)についてはレーンの余裕の範囲内で次のラウンドに進むことができる。レーンに余裕のない場合は着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- ②1500m・3000m・5000m・3000mSCの同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。

6 バーの上げ方について

- (1)走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
高男	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後1人になるまで3cm
高女	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	以後1人になるまで3cm
中男	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後1人になるまで3cm
中女	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後1人になるまで3cm

- (2)棒高跳は当日決定する。開始の高さ、上げ方については天候等により変更する場合がある。
- (3)1位と中国新人出場資格者決定におけるバーの上げ下げは 走高跳2cm 棒高跳5cmとする。

7 競技用具について

- (1)投てき用具は競技場に備え付けのものを使用する。ただし、個人所有のものについて、主催者による検査を事前に受け合格したものについては使用することができる。
- (2)棒高跳用ポールは個人所有のものを使用することができる。
- (3)スパイク(ピン)の長さは9mm以下とする。走高跳及びやり投は12mm以下とする。
- (4)競技で使用する靴底の厚さは、下表のとおりとする。

種 目	靴底の最大の厚さ
トラック種目(競歩を除く)	20mm以内
フィールド種目	20mm以内(前部が踵より厚くなってはならない)
競歩	40mm以内

8 表彰について

- (1)各種目3位までの入賞者に賞状を授与するので、結果発表30分後に表彰席で受け取る。
- (2)本大会は学校対校とし、1位8点……8位1点とし、その合計点により男女の順位を決定する。男女とも総合、トラック、フィールドの部3位までの学校に賞状を授与する。

9 その他

- (1)高校の部において4位が4名を超える場合は、中国新人大会出場資格者4名を決定するため、出場決定戦を行う。
- (2)中国新人大会出場者は1種目、各校2名とし以降、繰り上がり出場もある。
- (2)医務室は本部に設けるが、発病、負傷については応急処置以外の責任は負わない。
- (3)メインスタンドでの集団応援は禁止する。また、競技の進行にも配慮しながら応援すること。
- (4)貴重品の管理は各人が行うこと。紛失の責任は負わない。また、ゴミは各自で持ち帰ること。
- (5)記録はその都度アナウンスするが、記録掲示板にも印刷物を掲示する。
- (6)横断幕掲揚については、メイン・バックの各スタンド最上部のみ許可する。のぼり旗についてはサイドスタンド・及び各スタンド最上部のみ許可する。ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (7)テント設置は原則としてバック・サイドスタンドの真中通路より上の部分のみとする。また、メインスタンドにシートを敷いて席を多数占領することは禁止する。